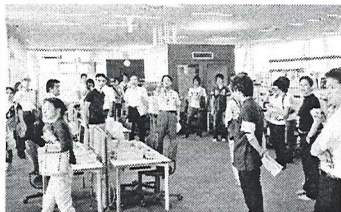


# 3日間で延べ950人参加



博多小のメディアスペース

福岡市内にある近現代建築を「fukuoka」が7日から9日の3日間開かれ、6作品の見学や専門家のレクチャーに延べ約950人が参加した。

アー||MAT fukuoka  
(Modern Architecture Tour)

産学官で構成する実行委員会が企画したもので、運営委員長  
の松岡恭子東京電機大准教授や  
事務局長の末廣香織九州大准教  
授のほか、九州大、東京電機大、  
チュラロンコン大(タイ)の国  
内外3大学で建築を学ぶ学生が  
ガイドを務めた。ツアーには親  
子や県外からの参加も見られ、  
建物や建築家にまつわるガイド  
の説明に、各作品の魅力を再認  
識していた。

7日に見学した福岡市立博多  
小学校では、橋爪秀三校長が4

## 福岡で近現代建築の魅力再認識

つこの伝統ある小学校を統合した  
学校の歴史を紹介した後、「博  
多部と中洲が校区で、1年中祭  
りがあり、地域に開かれた学校  
になっていく。このため、地域  
とともに歩むことができる人間  
力を身につける教育を行っている」と特色を述べ、児童数が開  
校以来増加している状況を説明  
した。

引き続き、オープン教室やメ  
ディアスペースをガイドととも  
に案内した。学生ガイドは、半  
地下の体育館にある斜めの柱に  
ついて、ガラス面を多用したの  
に加え、上部にあるメディアス  
ペースや屋上プールを支えるた  
めに人間が両足で踏ん張るよう  
に設計したという設計者の工藤  
和美氏(シーラカンSK&H)  
の話を紹介した。

銀行本店(設計||黒川紀章)、  
福岡市美術館(設計||前川國男)  
アクロス福岡(設計||日本設計、  
竹中工務店)、地下鉄七隈線大  
神南駅(設計||葉祥栄氏)、西  
日本シティ銀行本店(設計||磯  
崎新氏)を見学した。

ツアーは今年から3年間継続  
し、来訪者にも現代建築の街の  
イメージ定着を促す。ガイドブ  
ックの出版やアーカイブの設立  
など、福岡の建築文化に関する  
情報を蓄積することも計画して  
いる。